

京都市 農林業だより

発行 京都市産業観光局農林振興室農政企画課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 電話 (075) 222-3351

新物となる
すぐきのプレゼント銘木師 中川典子氏による
ガイドツアー

昔ながらの大八車の展示

京都市花き生産者連絡協議会
によるコスモスの会場装飾

会場の様子

当日は、約2万6千人の方々に御来場いただき、京都の農林業を身近に感じていただけた1日となりました。

11月7日(土)、平成27年度の『京の農林秋まつり』が21年に1度の式年遷宮を迎えた上賀茂神社で開催されました。

今回は、「祭と伝統文化の継承」をテーマに、振り売りに用いられた昔ながらの「だいばちぐるま大八車」の展示や上賀茂神社特別ガイドツアーなど、市内農林業の伝統に触れることのできる様々な企画が催されました。

京の上賀茂すぐき倶楽部による
すぐき神輿奉納

式年遷宮を迎えた
上賀茂神社で開催！

京の農林秋まつり



みずき菜
販売促進
キャンペーン

実施しました！



去る10月26日(月)～31日(土)、伏見区の農産物直売所「じねんと市場」において、「みずき菜販売促進キャンペーン」が実施されました。

「みずき菜」は、新京野菜の一つで、あっさりとした味とビタミンCやカルシウム等の栄養価の高さが特徴の葉物野菜です。

キャンペーンでは、「みずき菜」の販売に合わせて、生産者から「炒めてよし、和えてよし」と使い勝手の良い野菜であることを買い物中のお客さんにPRしていただいたほか、「みずき菜スムージー」の販売も行いました。

スムージーを飲んだ方からは「みずき菜の風味を強く感じる」「体によさそう」と好評を得ることができ、まだまだ生産量が少なく認知度が低い「みずき菜」を知ってもらうための貴重な機会となりました。





平成27年産 米穀の需給調整実施状況

京都市内における平成27年産の水稻の作付面積が確定しました。京都市内では下表のとおり、配分された生産数量以下の水稻作付状況となりました。

	配分面積 (㎡)	主食用水稻 作付面積 (㎡)	主食用水稻 作付率	参 考	
				加工用米 作付面積 (㎡)	新規需要米 作付面積 (㎡)
京都市 (京北を除く)	9,743,720	9,339,210	95.8%	158,765	59,827
京 北	3,157,980	2,893,786	91.6%	189,069	—
合 計	12,901,700	12,232,996	94.8%	347,834	59,827

今年産も加工用米や新規需要米（飼料用米）の取組が大幅に拡大しました。酒米供給など、始まったばかりの取組もありますが、安定した取引が継続してできるよう実需者との結びつきを強め、需要に応じた米生産を推進しましょう。



地域の New Face! 第1回

農大同期生3名
(伏見区淀)



左から藤林氏、北出氏、馬場氏

京都府立農業大学校を今春卒業した同期生3人が伏見区淀で就農しました。早速、3人の意気込みを伺ってきました。

☆藤林真輝さん（九条ねぎ中心）

「将来は聖護院大根等、他の伝統野菜にも挑戦したい」

☆北出大樹さん（シシリアンルージュというイタリアントマト中心）

「自分のところでは栽培していないオリジナリティのある野菜づくりをしたい」

☆馬場隆行さん（淀大根やエビイモを含めた少量多品目栽培）

「今は売り先開拓に力を入れているが、消費者からの多様な要望に対応するためこの3人のグループで協力できたらいい」

3人は「独立したが、近くに同期がいることで農大時代と同じ雰囲気を感じられる。同期には何でも話せて気が楽になる。」と口をそろえて言います。互いに農作業を手伝い、制度や販売に関する情報交換を行うなど、同期生だからこそ壁が無く協力し合っています。

森づくりにつなげる クロモジの加工品



樹々の会の皆さん
京北地域の林産物の活用に取り組まれています。

女性林業研究グループ「樹々の会」が「クロモジ」の活用に取り組んでいます。

「クロモジ」とは右京区京北地域に多く自生するクスノキ科クロモジ属の落葉樹で、和菓子のつまようじや薬用酒の原料になります。

「樹々の会」は、その香りや味、殺菌作用に着目。お茶、飴、入浴剤に加工して、今夏から道の駅ウッディー京北にて販売を始めました。

これらの売上の一部は本市に寄付され、森林整備に活用されます。

「京都の森づくりに役立ちたい！」という想いをお持ちの皆さま、この機会にぜひお問い合わせください！



クロモジ



クロモジを使った
お茶、飴、入浴剤

新たな土地改良区が誕生！

「京都市嵯原土地改良区」 しきみかはら

右京区嵯峨嵯原

は、愛宕山の北西、美しい棚田の広がる農村地域です。ここに平成27年12月、新たに「京都市嵯原土地改良区」が設立されました。嵯原地域では、平成28年度から農道や水路の改修工事を予定しており、土地改良区は工事の実施とその後の維持管理を行います。



鎧田（よろいだ）と呼ばれる
嵯原の美しい棚田



わさび試験栽培地設置作業

土地改良区の設立により、美しい棚田景観が守られ、隣の嵯峨越畑地域と連携しながら、観光農村としてのこれから発展が期待されています。

農薬を散布する前に…

農薬を散布する場合は、事前に周囲に住んでいる方等へ十分な周知を行いましょ。過去の相談等により化学物質に敏感な方が居住しているのを把握している場合は、十分な配慮が必要です。

周知内容には、農薬を使用する目的、散布日時、使用農薬の種類、農薬散布者の連絡先を含めましょ。近隣に学校や通学路がある場合は、通学時間を避ける等、万が一にも子どもが農薬を浴びることのないよう散布の時間帯に最大限配慮し、学校や保護者等にも連絡しましょ。

さらに、農薬を使用した年月日、場所及び対象植物、使用した農薬の種類又は名称並びに使用した農薬の単位面積当たりの使用量又は希釈倍数を記録し、一定期間保管することも大切です。

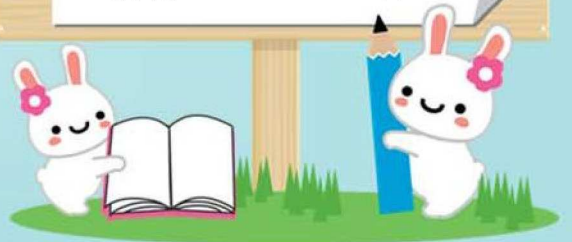
表示例

農薬散布のお知らせ

下記の内容で農薬散布を実施します。

記

目的	コナガの防除のため
日時	平成28年3月17日
使用農薬	モスピラン水溶剤
連絡先	090-1234-5678(薬丸)



京の旬野菜

「時待ち食」歳時記⑨

十二月（師走）



旬の野菜はその季節を健康に乗り切るために必要な栄養素をたっぷりと含んでいます。昔の人々は旬の野菜の食効を神仏の恵とし、その恩恵に感謝して頂きました。そんな風習が色濃く残るのが師走の風物詩「大根炊き」です。

千本釈迦堂（大報恩寺）の大根炊きは、お釈迦様が悟りを開かれた12月8日にちなみ、鎌倉時代に同寺の三世慈禅上人が大根の切り口を鏡に見立て、お釈迦様を表す梵字を書いて魔よけにしたのが始まりとされています。現在も大根に梵字を書いて加持祈禱をし、大釜で炊き上げられてから、参拝者に振る舞われます。

「大根炊き」には中風除け、今という脳卒中や脳梗塞など脳疾患予防に御利益があるといわれています。冬場には血行が悪くなるので、大根炊きで体を温め、ビタミンを補給することで、中風の予防に効果があるのかもしれない。また、大根はジアスターゼという酵素を含み、消化を助けて胸やけ胃もたれに効能があります。まさに冬には欠かせない野菜のひとつです。

木質ペレット温風機を使ってみませんか？

農業用ハウスなどの加温用の燃料として、木質ペレットが注目されています。



農業用ハウス
木質ペレット温風機

木質ペレットとは、間伐材等を細かく砕いて圧縮・成型した固形燃料で、重油等に代わる環境にやさしい再生可能な燃料です。この木質ペレットを使用する温風機は、燃料の自動供給が可能であるほか、着火や温度調整を自動で行う機種もあり、これまでの重油などを燃料とする機器と取扱いに違いはありません。

また、木質ペレットは、市内の山から運び出された間伐材を原料としていますので、市内産の燃料を使った地産地消で環境にやさしい野菜作りを始めることができます。



木質ペレット

◆本市では、農業用の木質ペレット温風機の導入補助希望者を募集しています。導入をお考えの場合は、補助制度の利用を御検討ください。詳しい内容については、林業振興課までお問い合わせください。

問合せ先

075-2222-3346

区分	補助額※1	補助額の上限
木質ペレット温風機	購入費（設置工事費込・税抜）の3分の2以内※2	導入規模等の条件に応じて上限あり※3

※1 1,000円未満切り捨て。 ※2 国の補助制度を併用する場合は、補助額合計が4分の3以内になるよう補助します。 ※3 詳しくはお問い合わせください。

京都市農業委員会 委員等の募集について

農業委員会等に関する法律の改正（平成28年4月1日施行）により、農業委員の選出方法が、現行の公選制から市町村長による任命制に変更されました。本改正に伴い、本市農業委員は、平成28年3月31日で任期満了を迎えるため、次期農業委員を募集いたします。

《募集期間》 平成27年12月22日～

平成28年1月15日（必着）

また、農地利用の適正化の更なる強化のため、「農地利用最適化推進委員」が新設されましたので、併せて募集いたします。

詳しくは、下記問合せ先までお問い合わせください。

問合せ先

農政企画課

075・222・3351

北部農業振興センター

075・493・6660

西部農業振興センター

075・321・0551

東部農業振興センター

075・641・4340

京北農業振興センター

075・852・1817

京都市農業委員会事務局

075・212・9050

左京区の山村都市交流の森で、8月2日（日）、ふるさと森都市フェスティバルが開催されました。猛暑の中、豊かな自然がもたらす涼を求め、約1千8百人の来場があり、花背小中学校の元気な金管バンド演奏とダンスを皮切りに、市内学生チーム和太鼓「真」の勇壮な演奏が会場に響きわたり、地域の催しを盛り上げました。



ふるさと森都市フェスティバル開催!!

子供達は目を輝かせ、模擬店には鹿・猪カツサンドやとち餅、漬物など地域特産物が並びました。また、来年から本格的に販売される予定の地域特産物（みょうが入りしば漬け・山椒入り佃煮等）の試験販売・試食コーナーでは、来場者にお気に入りの特産品をお買い求めいただきました。

